

うるま市誕生
20th
anniversary



ロゴマークが決定！

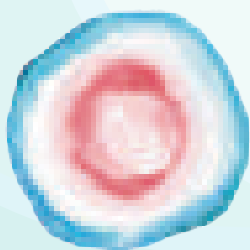
市制施行20周年記念のロゴマークは、うるまには誇れる魅力がありのまに溢れている「人が輝き、地域のありのままが、感動を生むまち」を表現した「感動産業特区」のロゴと、うるま市誕生20周年の「20」を組み合わせたデザインにしました。

うるまの感動に「まんまうるま」という名前をつけました。

うるまには、感動の種が、星の数ほどに溢れています。

自然、歴史、文化、風景、特産物、食、こども達の笑顔、人の想いなど、うるまの感動は、人を中心とした、「地域のありのまま」の中にあります。

全国に、うるまのありのままの魅力を知ってもらうことをコンセプトに、うるま市は「まんまうるまブランド」を立ち上げます。



まんま
うるま

ロゴデザインの丸い形は、うるま全体を包み込み、感動産業特区うるま市のありのままの感動が、内側から溢れ出て、その魅力にふれたひとの心に感動が広がる様子表現しました。



合言葉は
“うるまハタチ！”



さらに、本市が生産量日本一を誇るもずくは、市民の生活に欠かせない存在であり、“勝連のもずくてんぷら”は、世代を超えて受け継がれてきた食文化として「未来の100年フード部門」に認定されました。「伝統の100年フード部門」には“ティビチ料理”も認定されており、本市にとって守り語り継ぐべき感動の種です。

市制施行20周年となる本年を新たなスタートとして、市民や事業者、そして観光客など、本市に関わるすべての人が感動の源泉となり、「感動産業特区」を推進します。

明確なミッションのもと、行動指針をまち全体で共有し、“自助”としてのヒトづくり、“共助”としての地域コミュニティの強化、“発信”としての「感動産業特区」の認知拡大といった3つを軸に、「感動産業特区」のまちづくりの将来像「ここにしかない感動に触れることで、心が満たされる世界で唯一無二の地域」の実現を目指します。